

モニタリング結果報告書

施設 藤野芸術の家

指定管理者 一般社団法人かながわ青少年協会

施設所管課 青少年課

(平成 23 年度 下半期)

管理運営状況総括

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえ、判定してください）

B

<判定理由>

提案どおりの事業を実施したことを確認した。

利用状況は宿泊棟改修の影響のない前々年度同期と比較して5%の増であり、冬季光熱費により悪化しがちな収支状況も前年度同期より節減効果が見られ、利用者満足度調査や、事故対応状況も問題ないことからB判定とした。

A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。

B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。

C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。

D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	11月14日	11月18日	○	×	○	なし	消防訓練の参加者、設備の不具合対応などについて特に確認した。
11月	12月12日	12月20日	○	○	○	なし	設備の不具合対応などについて特に確認した。
12月	1月10日	1月20日	○	×	×	なし	特になし
1月	2月10日	2月14日	○	×	○	なし	特になし
2月	3月12日	3月21日	○	×	×	なし	特になし
3月	4月10日	4月16日	○	×	○	なし	体験事業の実施状況について特に確認した。

3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載してください。

<提案内容の概要>

自然環境に恵まれた立地、工房、スタジオ、ホール、宿泊機能を備えた滞在型体験施設としての特性を活かし、青少年をはじめあらゆる世代が、自然体験や芸術体験を通じて、豊かな感性と創造性をはぐくむことができるよう、魅力ある体験活動事業として、次の各事業を実施する。

○体験事業（陶芸体験、木工体験、自由工房でのガラス工芸体験等、音楽体験、自然体験）《常設》

- 学習事業（地域作家教室、美術基礎講座、音楽基礎講座、音楽芸術講座、アートテクニカルスクール）
- 創造事業（優れた芸術の鑑賞など）
- 活動支援事業（地域との連携事業、学校等連携事業など）

<実施状況>

○体験事業

10月	木工	537名	、	陶芸	623名	、	自由工房	2,480名
11月	木工	562名	、	陶芸	585名	、	自由工房	3,048名
12月	木工	394名	、	陶芸	373名	、	自由工房	1,864名
1月	木工	363名	、	陶芸	305名	、	自由工房	804名
2月	木工	249名	、	陶芸	338名	、	自由工房	1,104名
3月	木工	591名	、	陶芸	718名	、	自由工房	2,744名

○学習事業

10月	音楽基礎講座	48名
2月	舞台音響・照明実践講習会	延 103名
3月	美術基礎講座	延 12名
	音楽芸術講座	延 66名

○創造事業

10月	ヴァイオリン演奏体験	32名
	公演	250名

○活動支援事業

地域芸術家の芸術小品販売

学校等連携事業として、学校用工房体験メニューを含む学校等の宿泊利用受入れを随時行った。

4 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収入額				支出額	収支差額
	収入合計	指定管理料	利用料金	その他収入		
年間予算額 今期 (前期)	180,001 (166,941)	119,655 (130,411)	40,700 (23,360)	19,646 (13,170)	180,001 (166,941)	0 (0)
10月	13,381	9,698	2,387	1,295	15,004	△1,623
11月	19,231	15,911	2,072	1,248	11,631	7,600
12月	10,905	8,698	1,456	750	20,265	△9,360
1月	10,514	8,698	1,246	570	11,713	△1,198
2月	10,700	8,698	1,266	737	9,628	1,072
3月	14,486	8,698	3,712	2,073	26,491	△12,005
今年度 半期計	79,221	60,401	12,143	6,677	94,736	△15,514
前年度 同期計	78,962	72,331	2,072	4,559	91,344	△12,381

- 1 指定管理者の収入を記載してください（県の収入である「使用料」は含みません。）。
- 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載してください。

収支状況に関する意見等

- ① 年間予算額における収支差額が0でない場合は、その理由を記載してください。
- ② 今年度半期計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し詳細に記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載してください。また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載してください。
- ③ 今年度半期計における収入額又は支出額が前年度対比30%以上プラス又はマイナスとなっている場合は、理由を分析し、詳細に記載してください。

<意見等>

- ①、③ 該当なし
- ② 指定管理業務にかかる人件費相当分の仮受消費税について、年度分をまとめて支払っていることから、3月の支出超過が大きくなり、ひいては下半期分の支出超過が大きくなっている。

<参考>

本施設について県が支出した（する）修繕費等

県有財産の維持管理上必要な工事等で50万円以上の修繕費等については、県が支出することと基本協定で定めている。施設の状況をよりの確に把握するため、県が支出した修繕費等についても参考に記載している。

- 県が支出した施設の修繕費等の金額及び工事内容を記載してください。
- 「金額」欄は、半期ごとの総額を記載し、「工事箇所・内容」欄には、主な工事とその金額をカッコ書きで記載してください。
- 修繕等の一覧がある場合は、参考にご提供くださるようお願いします。

	金額	工事箇所・内容
上半期	4,188,156 円	宿泊棟内壁塗り替え工事（1,488,900 円） エレベーター等改修工事（2,382,282 円）ほか ※付帯事業としてのレストラン部分に係る修繕費等（85,974 円）を含む。
下半期	5,269,950 円	浄化槽修繕工事（2,100,000 円） 送風機更新工事（1,304,100 円）ほか ※付帯事業としてのレストラン部分の厨房エアコン交換工事（682,500 円）を含む。
総額	9,458,106 円	

（今期に行った資本的な収入及び支出等の状況）

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況	該当なし	
積立等の状況		(期首)
		(期末)

- 収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載してください。
- 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載してください。
- 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載してください。

5 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
10月	7,570人	3,702人	104.5%
11月	7,422人	4,790人	54.9%
12月	4,145人	3,027人	36.9%
1月	2,714人	2,788人	△2.7%
2月	3,758人	2,696人	39.4%
3月	8,359人	1,847人	352.6%

	目標利用者数	利用者数	前年同月利用者数	目標対比増減率	前年対比増減率
今年度上半期計	62,628人	64,177人	56,318人	2.5%	14.0%
今年度下半期計	32,350人	33,968人	18,850人	5.0%	80.2%

利用状況に関する意見等

- ① 今年度上(下)半期計の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由及び対応策を分析し記載してください(特に、理由の記載にあたっては、各月の状況を分析し、わかりやすく具体的に記載してください)。
- ② 目標利用者数を下回った場合は、その理由を記載してください。
なお、目標利用者数を定めていない場合は、未記入もやむを得ませんが、次回以降は記入してください。

<意見等>

平成22年9月から平成23年3月末まで、宿泊棟の外壁工事に伴い宿泊者の利用を休止していたため、昨年同期の利用者数が極端に少なかったことが、前年対比大幅増の主な要因である。

6 苦情・要望等の状況

受付件数(うち施設所管課受付分)

	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
下半期報告						
合計	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	15(0)	16(0)

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなど、特に注意すべき場合に記載してください。

分野	概要	対応状況
施設・設備	・特筆すべきものなし	
	・	
	・	
職員対応	・特筆すべきものなし	
	・	
	・	
事業内容	・特筆すべきものなし	
	・	
	・	
その他	・特筆すべきものなし	
	・	

8 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載してください。

なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出してください。

発生日	事故の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)
月 日			
月 日		該当なし	
月 日			
月 日			

9 随時モニタリングの実施状況

（ 事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載してください。 ）

実施日 (事故発生日)	対応者等	経緯・調査内容	調査結果(指定管理者の課題の有無等を含む)
月 日 (月 日)			
月 日 (月 日)		該当なし	

10 下半期の所見等

（ 2～9の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載してください。 ）

指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> 施設の維持管理、運営に関する業務につき、計画通り実施した。 冬季における光熱費の増により収支的には厳しい状況であった。 宿泊棟の工事は終了し、宿泊者を受け入れる体制は整ったが、東日本大震災後、引き続き宿泊者数は伸び悩んでいる。 その中でも、工房を主体とした体験事業や自主事業を展開し、工房の利用者数は宿泊者の多かった一昨年度より約 13%の伸びを示すなど、一定の事業効果を確保することができた。
施設所管課	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理業務を着実に推進している。 アクセサリーや日用品の制作、版画やボーカルの基礎の講習、コンサートの開催など、身近にアートを感じられる体験事業が利用者数の増加につながっており、これまでの事業経験を活かし、利用者の興味を惹く魅力的な事業が展開されることを期待する。